小牧市の令和4年度決算に基づく連結財務4表(概要版)

① 貸借対照表

年度末時占における資産 負債 純資産の残高を表すものです (単位・百万円)

	一文小时小における貝座、	只良、爬貝片	<u> </u>	(半位・日7/17/17/17
資 ;	産	563,354	負 債	83,704
事: 「 イン	が所有している財産 業用資産 F舎、学校、施設など ノフラ資産	147,318 347,596	地方債等 地方債等と1年内償還予定地	37,171
│ 物 ₁ │		6,311 25,042	方債等の合計 退職手当引当金 そ の他	11,020 35,513
_	 金預金	,	純資産	479,650
そ(の他	15,889	既に支払いが済んでいる資産	

④ 資金収支計算書

貸借対昭表に計トされている現金預金の増減を表すものです (単位・百万円)

<u> 具情対照表に計上されている現金関金の増減を表りものです。</u>	<u> </u>
令和3年度末現金預金残高	21,143
業務活動収支	7,905
行政サービスを行う中で、毎年度継続的に収入、支出されるもの	
投資活動収支	△5,706
学校、道路などの資産形成や投資、貸付金などの収入、支出など	
基礎的財政収支(プライマリーバランス)	2,199
業務活動収支と投資活動収支の合計	
財務活動収支	△2,210
地方債、借入金などの収入、支出など	
令和4年度資金収支額	Δ11
その他増減額	67
令和4年度末現金預金残高	21,198

財務4表からわかること

市民1人当たりの資産と負債

資 産 375万円 (対前年度 +1万円) **負 債 56万円** (対前年度 Δ3万円)

市民1人当たりの行政コスト

82万円(対前年度 +1万円)

社会資本形成の過去及び現世代負担比率

96.9% (対前年度 +0.6ポイント)

純資産比率

純資産比率 85.1% (対前年度 +0.9ポイント) (純資産÷資産)

※一般企業における自己資本比率に相当するものです。

負債比率

負債比率 17.5% (対前年度 △1.3ポイント) (負債÷純資産)

※この指標が低いほど財政状況が健全であると言えます。

② 行政コスト計算書

1年間の行政サービスの収益を表すものです。	(単位:百万円)
経常費用	123,295
人件費	21,210
職員給料、議員報酬、賞与等引当金繰入、退	
職手当引当金繰入など	
物件費等	41,432
消耗品費、委託料、施設の維持補修費、減価	
償却費(資産価値の減少分)など	
補助金等	24,318
各種団体への補助金、助成金及び負担金など	,i ¹
社会保障給付	32,598
障害者福祉、高齢者福祉、子育て支援、生活	
保護などにおける扶助費など	
その他	3,737
経常収益	26,485
使用料及び手数料	23,990
その他	2,495
純経常行政コスト	96,810
臨時損失	1,358
臨時利益	105
純行政コスト	98,062

③ 純資産変動計算書

当該年度における純資産の増減を表すものです (単位・五五四)

ヨ欧千茂における純貝生の指拠を衣りものし	<u> 9。(単位:日刀円)</u>
令和3年度末純資産残高	474,763
純資産の増加	102,949
税収等	51,453
国県等補助金	42,948
その他	8,548
純資産の減少	98,062
純行政コスト	98,062
本年度純資産変動額	4,887
令和4年度末純資産残高	479,650

※ 各表中、表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計額が一致 しない場合があります。